

特集

創刊4周年記念

石田衣良作品で

「時代」を読む

8
時代に怯えながら傍観するより、
プレイヤーとして観察する

インタビュー 石田衣良

20
作品ガイド

世相を切り取り続けた十二年の軌跡……

友清 哲

32
実は本人が書いていた！ 傑作「帯コピー」集

34
著者とともに振り返る、あの「名フレーズ」



66 38

新連載小説
浅倉卓弥
大倉崇裕

されこうべ ① 清盛と頼朝
白虹 ① 神風沢小屋

新連載小説

歴史ロマンと山岳ミステリー、気鋭の作家二人による渾身の連載スタート！

連載小説

240 宮部みゆき

桜ほうさら ⑧

偽文書をつくり父に罪を被せた人間が江戸にいると聞いた笹之介は……。

172 小路幸也

Goodbye, so long ラプソディ・イン・ラブ ④

園田と岡本。二人の息子は父・笠松がかつて上海にいたことを知る――。

136 加治将一

石の国と木の国 倒幕の紋章 ②

過激攘夷派に捕まった長次郎は、グラバーとの関係を問い詰められる。

200 仙川 環

失踪 人体工場 ⑤

「待ち伏せされていたのは自分では？」と、真柴は恐怖を感じ始めていた。

264 山本幸久

役者が一枚上 シンリキシャングリラ ①

雄大の憧れる有珠井有紀に、富士太は亡き妻・桜子の面影を重ねていた。

290 江上 剛

転職と天職 成り上がり――安田善次郎伝 ⑩

玩具売りを辞めるかどうか悩んでいた忠兵衛は、藤兵衛に相談してみた。

318 香納諒一

妻 熱愛 ⑩

深く愛しながら、死なせてしまった妻への思いは今も鬼束を苦しめる。

348 火坂雅志

大仏炎上 その六 鬼神の如く ⑤

大仏炎上の報を受け、筒井城ではただちに攻撃準備がはじまっていた。

528 山本一力

焼津節 その二十六 献残屋佐吉御用帖 ③

武家が抜け荷に手を染め、夜鷹を売り物にしたと聞いた伊勢屋の主人は。

504 中村彰彦

松茸と朝鮮人参 花ならば花咲かん ⑩

藩の江戸上屋敷普請を任せられた加兵衛は、札差・三谷三九郎と交渉に入った。

544 高橋克彦

風の陣 その三 風の陣「裂心篇」 ④

鮮麻呂は阿久斗に、広純の首を獲る恰好の機会が訪れたと告げるが……。

116

新連載
河合香織新連載 ノフィクション 様々な人の「週末」に寄り添いながら、日本と日本人の「いま」に迫る。
ウィークエンド ① 金曜午後九時 百姓に戻る道

496



話題の著者に聞く

北國浩二『リバーズ』

ジャンルにとらわれない
大衆娯楽小説をめざして

連載ノンフィクション

388 平山 譲

ひとりなんかじゃない アウゲント 逆風の人々 **19**

356 百田尚樹

黄金のバンタム 闘拳伝説 — ファイティング原田とその時代 **6**

連載エッセイ

422 熊谷達也

道草をくえない子どもたち 日本人の貌 かお **18**

436 鹿島 茂

エテロの娘チツポラ 『失われた時を求めて』を完読する **22**

454 石原千秋

言葉と戯れる恋人たち この名作を知っていますか
〜吉行淳之介「夕暮まで」 — 近代小説の愉しみ(終)

412 竹内一郎

「連戦連敗」を繰り返した果てに ここ一番に強い人 **7**

472 佐藤幹夫

高等学校の取り組みと大学の課題 — 「生きづらさ」を抱えた人たち
— 「発達障害」という窓から **3**

連載講座

484 佐藤 優

日本の未来 佐藤優に学ぶ「人たらしの極意」
— 生き残りの流儀 **9**

564 文蔵バックナンバー紹介

567 文蔵年間購読のご案内